

# 岩手県山田町 | C T 復興街づくり検討会の概要

## 【被災自治体の課題】

被害規模が大きく、比較的小規模な市町村では、

- ◆ 情報化推進（インフラ整備、利活用、運用管理体制等）の検討まで手が回らない
- ◆ ベンダーの提案の善し悪しを判断できない（結果、支援事業もベンダー提案に頼り切り）
- ◆ 行政側でやりたいことを整理できないので住民の意向を確認できない
- ◆ 事業の進め方が分からない（支援事業を含む）

等  
の声が、自治体訪問等の際に情報化担当者から寄せられている。



## 適切なプロセスを踏んだ復興に向けた情報化計画の策定が必要

- 事業目的の明確化と震災を教訓とした真に必要なシステムの導入
- 導入プロセスの明確化と予算の効率的執行、民力の活用（官民の適正な役割分担）
- 導入システムの確実な運用とコンプライアンスの確保



## 岩手県山田町 | C T 復興街づくり検討会（成果は他地域に展開）

構成：県、町、有識者、電気通信事業者、N I C T（独立行政法人情報通信研究機構）耐災害 I C T 研究センター、ベンダー（町推薦団体）、東北総合通信局

事務局：東北総合通信局（情報通信振興課、東日本大震災復興対策支援室、情報通信連携推進課）



- ◆ 座長を派遣
- ◆ 耐災害・復興検討WGメンバー（懇談会の会員）による課題解決策の提案

## 【東北情報通信懇談会〔耐災害・復興検討WG〕】

●会長：鎌田宏 東北六県商工会議所連合会会長 ●運営委員長：根元義章 N I C T 耐災害 I C T 研究センター長、東北大学名誉教授  
昭和61年2月設立、東北地方の産学官が結集して地域の特性に応じた情報通信の利活用で地域の活性化を図る事業を展開

# 岩手県山田町 | CT復興街づくり検討会のスケジュール (案)

